

【平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月までに呼吸器内科入院による、肺炎治療を受けられた患者さん、及びご家族の方へ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

Risk factors for antibiotic re-administration in patients with pneumonia during hospitalization.

肺炎^{*1}の診断で入院となった患者における抗菌薬^{*2}再投与のリスクについての検討

*1: 肺炎とは、何らかの病原性微生物が肺に侵入したことで起きる急性の炎症です。

*2: 抗菌薬とは、細菌を壊したり、増えるのを抑えたりする薬のことです。

【研究背景・目的】

肺炎で入院された患者の中には、抗菌薬による治療後の入院経過中に再度、抗菌薬投与が必要な状態（再度感染症を発症する）となる症例があります。そのような症例に影響するリスクファクター（危険因子）について検討した研究は今までありませんでした。この研究は、肺炎で呼吸器内科へ入院となった患者さんを対象とし、カルテに記載されている情報を過去に遡り、抗菌薬治療終了後に再度、抗菌薬投与が必要となった要因や理由について検討を行います。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成 29 年 11 月 1 日から平成 30 年 10 月 20 日です。
- ・対象：平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までに呼吸器内科にて肺炎の診断で入院治療を受けた患者さん
- ・取得情報：肺炎症例（CAP（市中肺炎）か NHCAP（医療介護関連肺炎）、誤嚥性肺炎）、肺炎重症度スコア、抗菌薬処方内容、抗菌薬投与期間、年齢、性別、既往歴、画像所見、血液検査、合併症、入院期間、転帰

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への

研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・ 診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 呼吸器内科 部長 飛野 和則

【問い合わせ先】

飯塚病院 呼吸器内科 西澤 早織
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83
TEL：0948-22-3800（代表）